



## D コマンド

---

この章では、D で始まる Cisco NX-OS Routing Information Protocol (RIP) コマンドについて説明します。

# default-information originate (RIP)

Routing Information Protocol (RIP) にデフォルト ルートを生成するには、**default-information originate** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
default-information originate [always] [route-map map-name]
```

```
no default-information originate
```

## 構文の説明

<b>always</b>	(任意) ルートが RIP ルーティング情報ベースにない場合、デフォルト ルートを生成します。
<b>route-map map-name</b>	(任意) ルートがルート マップによって許可されている場合にのみデフォルト ルートを生成します。マップ名は、63 文字以下の任意の英数字文字列です。

## コマンド デフォルト

ディセーブル

## コマンド モード

ルータ アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、条件ルート マップに合格したすべてのルートに対して、デフォルト ルート (0.0.0.0/0) を生成する例を示します。

```
switch(config)# router rip Enterprise
switch(config-router)# address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# default-information originate route-map Condition
switch(config-router-af)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>address-family</b>	アドレスファミリ コンフィギュレーション モードに入ります。
<b>default-metric</b>	RIP に再配布されたルートにメトリックを設定します。
<b>redistribute</b>	ルートを他のルーティング プロトコルから RIP に再配布します。
<b>show ip rip route</b>	RIP テーブル内のルートを表示します。

# default-metric (RIP)

Routing Information Protocol (RIP) 用のデフォルト メトリック値を設定するには、ルータ アドレス ファミリ コンフィギュレーション モードで **default-metric** コマンドを使用します。デフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**default-metric** *value*

**no default-metric** [*value*]

## 構文の説明

*value* デフォルトのメトリック値。指定できる範囲は 1 ～ 15 です。

## コマンド デフォルト

*value* : 1

## コマンド モード

ルータ アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**default-metric** コマンドを **redistribute** コマンドと同時に使用し、すべての再配布されたルートに同じメトリック値を使用します。デフォルトメトリックは、互換性のないメトリックを持つルートを再配布するという問題を解決するために役立ちます。外部メトリックが RIP メトリックに変換されない場合、デフォルトメトリックを使用することにより、常に妥当な代替メトリックを外部メトリックに提供し、再配布を続行することができます。

## 例

次に、RIP を使用する Open Shortest Path First (OSPF) ルートをアドバタイズし、OSPF から発生した 10 の RIP メトリックを持つルートを割り当てる例を示します。

```
switch(config)# router rip Enterprise
switch(config-router)# address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# default-metric 10
switch(config-router-af)# redistribute ospf 109 route-map FilterOSPF
switch(config-router-af)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>address-family</b>	アドレスファミリ コンフィギュレーション モードに入ります。
<b>copy running-config startup-config</b>	コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。
<b>default-information originate</b>	RIP に再配布されるルートのデフォルト ルートを生成します。

コマンド	説明
<b>redistribute</b>	ルートを 1 つのルーティング ドメインから他のルーティング ドメインに再配布します。
<b>show ip rip route</b>	RIP テーブル内のルートを表示します。

# distance (RIP)

Routing Information Protocol (RIP) によって検出されたルートに割り当てるアドミニストレーティブ ディスタンスを定義するには、**distance** コマンドを使用します。ディスタンスを削除し、システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**distance** *admin-distance*

**no distance** *admin-distance*

構文の説明	<i>admin-distance</i>	RIP ルートに割り当てるアドミニストレーティブ ディスタンス。指定できる範囲は 1 ~ 255 です。
-------	-----------------------	--

コマンド デフォルト	<i>admin-distance</i> : 120
------------	-----------------------------

コマンド モード	ルータ アドレス ファミリ コンフィギュレーション モード
----------	-------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	<b>distance</b> コマンドを使用し、他のプロトコル ルートに対する RIP ルートのプリファレンスを変更します。数值的に、アドミニストレーティブ ディスタンスは 1 ~ 255 の整数です。一般的に、値が高いほど信頼性のランク付けは低くなります。255 のアドミニストレーティブ ディスタンスは、ルーティング情報源がまったく信頼できないため、無視すべきであることを意味します。
------------	---

例	次に、RIP のアドミニストレーティブ ディスタンスを設定する例を示します。
---	--

```
switch(config)# router rip Enterprise
switch(config-router)# address-family ipv4 unicast
switch(config-router-af)# distance 85
switch(config-router-af)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>address-family</b>	アドレスファミリ コンフィギュレーション モードに入ります。
	<b>redistribute</b>	ルートを 1 つのルーティング ドメインから RIP に再配布します。
	<b>show ip rip</b>	すべての RIP インスタンスの RIP 要約情報を表示します。

## ■ distance (RIP)